

第 2 回

# わが社の防火

協同組合

大阪紙文具流通センター

日頃より地域の皆様方には格別のご高配を賜り感謝申し上げますとともに、東大阪市西防火協力会におかれましては常日頃からご指導いただいておりますことをお礼申し上げます。

今回は「西防火協力会だより」の「わが社の防火」をお借りしまして、当組合の紹介と取り組みについて紹介する機会をいただいたことに対して改めてお礼申し上げます。

当組合は昭和44年2月3日に設立し、東大阪市長田中の地には昭和46年3月31日に団地を開設して来年には50周年を迎える事になります。

組合の事業内容は  
共同配送、共同倉庫、パレットプール  
共同購入共同金融  
共同受配電、給排水、防災警備  
株文紙センター（保険代理店）です。

現在では組合員43社、賛助会員14社のあわせて57社で構成しています。それぞれの企業では皆さま方が日常生活で使われている文房具や紙製

品を取り扱っていますので、知らず知らずのうちに様々な場所で目にしたり手にとったりしてご利用いただいているのではないのでしょうか。

## 当社での取り組み

社会貢献活動として昭和49年からは社会福祉法人東大阪市社会福祉協議会を通じての「善意運動」、昭和52年からは「愛の献血運動」を毎年実施しています。

平成10年にスタートした団地内道路一斉清掃では道路美化実践団体として平成17年に国土交通大臣表彰を受賞しました。

団地開設30周年と40周年の記念事業の一環として行った東大阪市への指定寄付では団地内の街路樹をケヤキに統一し環境美化にも力を入れてきました。



これまで当組合では、水消火器を使った消火訓練や東大阪市消防局防災学習センターを訪問して防災について理解を深めるなど防火運動にも取り組んでまいりました。

また春と秋の火災予防運動時には組合会館の正面玄関に懸垂幕を掲出して組合員や賛助会員だけでなく通行する人や車両にも周知を図るとともに、隔月（奇数月）に発行している機関紙「PSセンターニュース」では東大阪市消防署予防広報課のご協力を得て告知記事を掲載して、組合員や賛助会員企業並びに各社の従業員に防災・防火の大切さの周知を図っています。

平成20年には組合会館にAED（自動体外式除細動器）を設置して、心停止した場合などの不測の事態に備えています。

企業団地の特徴でもありますが、平日の昼間に比べ夜間や休日に入通

りが少なくなります。当組合では夜間・休日には警備員が常駐し巡回警備を行い放火や事故の発生を未然に防ぐ対策を取っています。

近年多発している自然災害が発生した場合、団地内で働く従業員の安全を確保すると共に事業が安定的に継続する事ができるように組合員が連携して取り組むことを目的として令和2年度に経済産業省の「事業継続力強化計画認定制度」の認定も受けました。

今後も組合ならではの防災体制を構築するとともに東大阪市消防署様や東大阪市西防火協力会様のご指導をいただきながら防災と防火に努めてまいります。

